

# 求めきわめて一筋に

兵庫県立柏原高等学校  
第77回生 第3学年  
学年通信 No.12  
令和7年1月24日発行

共通テストを皮切りに一般入試が本格的にスタートしました。共通テストの得点によって、予定通りの出願をする人も、志望校を幅広く見直すことになった人も、大事なのは次の試験への準備です。とくに国公立二次試験まではちょうど1カ月。充分、力をつけることができます。それぞれの受験科目について自分の受験する試験の傾向と対策にシフトチェンジです。目標に向けて最後まで頑張りましょう。先生方も一緒に頑張ります。(一原 直之)

## 2月の予定

《 》内は、主に1, 2年に関連する行事です。

1/24 金	学年集会 LHR 大掃除	『面接指導』、『小論文指導』の申し込みは、三者面談後すぐに！
1/25 土		
1/26 日	国公立出願三者面談	
1/27 月	3年自宅学習開始 国公立出願三者面談	
1/28 火	国公立出願三者面談	
1/29 水		
1/30 木		《地域課題から世界を考える日》
1/31 金	卒業認定会議	
1 土		
2 日		
3 月		
4 火		
5 水	※登校禁止(要相談)	《校内長距離走大会》
6 木		
7 金		《2年進研マーク模試》
8 土		《2年進研マーク模試》
9 日		
10 月		
11 火	※建国記念日	
12 水		《カウンセリング》
13 木		
14 金	※登校禁止 入試準備	
15 土	※登校禁止	
16 日	※登校禁止	
17 月	推薦入学適性検査※登校禁止	
18 火		
19 水		
20 木		
21 金		
22 土		
23 日		《学年末考査》 2/20(木)~2/27(木)
24 月		
25 火	国公立大学前期日程試験	
26 水		
27 木	卒業式予行・表彰伝達式 服装頭髪検査あり	
28 金	卒業証書授与式	

## 自由登校期間中の連絡・注意

### 1 登校時について(補習・個別指導・担任面談など) 基本平日のみ

- ① 自習教室は、学習室と図書室で8:00~17:00です。(HR 教室等は補習や面接練習などで使用予定)
- ② 昼食のゴミは各自で持ち帰る。
- ③ 1・2年生は授業中。階段・廊下で騒がない。
- ④ 面談や調査書の発行などを希望する場合は、予め該当の先生と連絡をとって、予定を確認すること。(補習・面接・小論文指導、他学年の授業、会議、出張など、何らかの予定が入っており、急に対応できない場合があります。)
- ⑤ **登校禁止日**…土日祝日と推薦入試、長距離走大会等の登校禁止日に注意！左ページ参照
- ⑥ 入試対策指導…必要な場合は各教科・科目の先生に申し出てください。  
小論文は進路指導部、面接は一原まで。

### 2 自宅での生活について

- ① 進路内定生徒の教習所入所・アルバイトは必ず事前許可を取ること。  
\*無断で行った場合は特別指導となります。
- ② 通常の学校生活のルールを守り、規則正しい生活を送ること。

### 3 受験結果の報告

- ① 出願校は最後までチャレンジすること。(国公立中期後期まで粘る気持ちを貫く)
- ② 合否が判明したらすぐに担任に報告・連絡・相談！担任不在の場合は学年の先生に連絡する。私大3月入試への調査書等は特に迅速に！

### 4 卒業式予行・卒業式について

#### ◇2月27日(木) 予行

- 7:40 表彰者・卒業式代表生徒は北体育館集合(所作・動き確認)
- 8:20 登校(SHR 後、体育館入場)
- 8:45 **服装頭髪検査**・学年集会
- 9:15 卒業式練習(式歌練習、退場・入場練習、呼名、所作など)
- 10:20 柏陵同窓会入会式 **【本番】**
- 10:50 表彰式(柏高賞、皆勤賞) **【本番】**  
在校生より卒業記念品目録贈呈式 **【本番】**  
卒業証書授与式予行(式全体・歌唱指導・送辞・答辞も含む)  
LHR

\***服装頭髪検査があります。違反者は各自直してもらいます。**

\*正しい頭髪・服装で参加してください。**ブレザーを忘れない。**

\*卒業アルバムなどを持ち帰る大きめのカバン・袋等を持参すること。

#### ◇2月28日(金) 卒業式 8:45 登校

教室へは入らず、まず柏陵会館2Fへ集合。学年集会を行います。その後教室へ。

\*各クラス代表者は8:00 職員室前集合(8:10 職員室で代表挨拶)

### 5 卒業証明書の発行について

- 28日に全員に2通発行する。それ以上必要な場合は担任にすぐ連絡すること。
- \*3月1日以降の調査書・卒業証明書等の書類は1通400円必要となる。予めわかっている書類は担任に発行を依頼しておくこと。(別紙申込書あり)

### 6 保護者の皆様へ

学年費の返金がありますので、学校届け出の口座はまだ解約しないでください。

## 受験結果は必ず報告を

自宅学習期間に入ります。つぎの登校は卒業式前日の2月27日です。ここまでにおおかたの私大受験の結果は判明しています。もし、当初の計画通りに行かず、合格できなかった場合には、次の手を考えないといけなくなります。受験結果は判明次第、連絡するようにしてください。2月28日の卒業式を過ぎると、登校の必要がなくなります。この時期になると、先生方は毎日気をもんで連絡を待っています。学校から電話するのも何かと気を遣います。受験結果の報告は必ずしてください。

## 主任からお願い

卒業が間近となりました。ここまでの3年間、楽しいことも辛いことも色々あったと思います。3年間という長い時間をかけて頑張ってきたことは、あなたへの評価や信頼となり今後も色々な場面で生きていくのだと思います。だからこそ、最後の卒業の日まで3年生として後輩たちに見せるべき姿があります。「私たちの背中をみろ」と。卒業にあたりやってほしいことを以下に書きます。

### ・3年間積み上げてきた自分を見てもらう。

髪の毛の染色・加工、装飾品（ピアス、ネックレス、髪飾り・・・）、化粧、シャツ出し、スカートを短くするなどしない。（違反者は各自で直してもらいます）

たった1日数時間を着飾って何の価値がある？あなた達が積み上げてきたこの3年間のほうが数百倍、数千倍価値のあるものだと思いますか？だからこそ、卒業式に着飾る必要は全くもってありません。今の自分ありのまま出席してください。

### ・校歌をしっかりと歌う。

77回生は校歌を大事にしてきた学年です。確かにコロナの影響で過去には「歌を歌うな」と言われてきました。しかし、時代は変わりつつあります。77回生で柏高の校歌を大事にする流れをもう一度作りませんか？私はあなたたちがしてくれた校歌の翻訳を忘れません。心をついにしっかりと歌ってほしいです。

### ・様々な人に感謝の気持ちを表現する。

あなた一人の力ではここまで来ることが出来なかったのではないのでしょうか。家族、親類、地域の方々、友人、先生……。今までお世話になった人に感謝の気持ちを伝えてください。そして、これからもよろしくと。

お世話になった人を裏切るようなことは絶対にしないでください。これほど悲しいことはありません・・・。だからこそ、最後まで気を抜かずきっちりと自分の言動には責任をもって。

## 祝！書道部 3組 荒木園夏さん

### 第33回国際高校生選抜書展 優秀賞受賞！

国内外からの応募総数 10,635 点のうち 200 点に入りました。

おめでとうございます！

荒木さんの作品 →

## 祝！書道部

### (1組廣瀬有寿さん 3組荒木園夏さん 3組田村柚季さん

### 3組塚口夏音さん 5組深田隼佑君 5組谷垣結心さん)

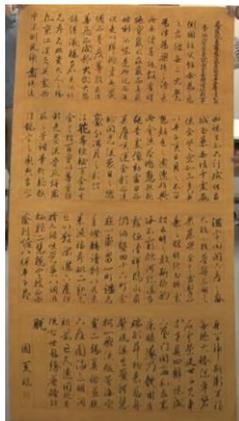
### 第33回国際高校生選抜書展 団体近畿地区優秀賞受賞！

全国 733 校、近畿地区 126 校の中で柏原高校書道部が

団体近畿地区優秀賞を受賞しました。

(近畿地区 126 校の中で 11 校に入りました)

おめでとうございます！



## 「最後の最後まで伸びる！」

さて、「最後」とはいつなのでしょう？

学校の卒業は、決められた課程を修了しないとできませんが、受験の「最後」は、自分で決めることができます。「ここまで」と自分で決めることができるのです。その「ここまで」は、人によって違います。「第一志望合格」の人もあれば、「第二志望合格」の人もあります。いずれにしても、自分が納得するまでです。(経済的な事情も無視できない要素ではあります。)

中には、第二志望には合格したものの、納得がいかず、一年先まで「最後」を延長する人もいます。それまで精一杯頑張ってきた経過を思うと、どうしても第二志望へは行けないのです。途中で「最後」にしてしまうことができないのです。大切なのは、「本当に納得できている」か、です。「やり切った上で『最後』を決めた」か、です。

「最後」が時期的に遅くなるのが国公立受験者です。ほとんどの国公立志望の人は、後期まで受験計画を立てていることと思います。国公立前期が2/25、国公立後期は約2週間後、3/12の受験です。この2週間で頑張り抜けず、早々に「最後」を決めてしまう人がいます。

後期日程の方が募集定員が少なく、ほとんどで高倍率になります。この様なこともあって出願しない人や、出願していても試験を欠席する人がいます。共通テスト後、「今」、さんざん悩んで、不安と戦いながら出願先を検討しているはずですが、「今」は、最後まで頑張り抜く決意をしているはずなのに・・・です。

後期の高倍率にだまされてはいけません。国公立大は「前期・中期で合格して入学手続きをすると、後期には合格できない」仕組みになっています。この人たちこそ、受けに行かないので、実質倍率が2倍に満たないところもごろごろしています。昨年先輩たちの結果からも、国公立合格者の5人に1人は、中・後期で合格しています。決して諦めてはいけません。

毎年のことですが、「あと2週間」を頑張り抜けなかった人を見る度に、「途中で『最後』を決めた」のかと残念に思います。同時に、果たしてそれで「納得」がいつているのか、と疑問に思います。

合格しても行くか行かないかは、悩み抜いて決めればいいのです。合格通知は、何通あっても邪魔にはなりません。どうしても納得がいかず、一年延長する人もいます。まずは、やり切ることです。その上で決意しないと、全ての決断が「中途」なものになってしまいます。

特に時期的に遅くなる国公立志望者について書きましたが、私大でも同様です。その決断が「納得」からきているのか「諦めや逃避」からきているのか、自分にしかわかりません。「納得」して春からの新生活に臨みたいものです。

受験はまだまだこれからが勝負です。

まだまだやれることは、たくさんあります。

## みなさんの健闘を祈ります。